

## 国頭地区児童生徒科学作品展 銅賞 入賞者表彰

去る10月2日(火)、児童朝会において、国頭地区科学作品展入賞者の表彰を行いました。なんと、14作品20名が銅賞をいただきました。素晴らしいですね。

今年も夏休みに「理科室開放日」を設けて、理科専科の久保田先生が子ども達といっしょに自由研究に取り組みました。楽しそうに理科室で自分の実験をまとめたり、アドバイスをもらったりしていました。

自然豊かで、海も山も身近にあるこのやんばる宜野座村で培われた子ども達の科学の目が、健やかに育っていけるように、これからも支援していきたいと思えます。

入賞した皆さん おめでとうございます。

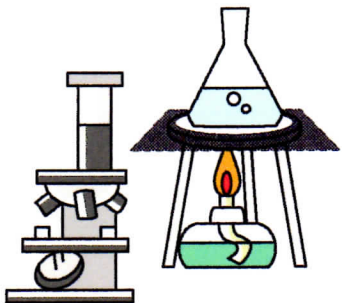
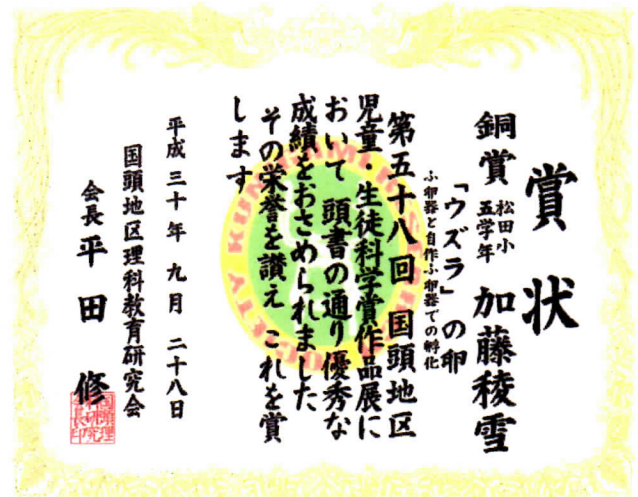
1年 たなか れお	「赤ちゃん けんきゅう」	
1年 たなか れお	「こうぶつ・石・化石 けんきゅう」	
2年 ひが りりか	「ハイビスカス」	
2年 きんじょう あつき	「サナギのじっけん」	
3年 ひが ゆりな	「あさがお日記」	
3年 たから ゆきな	「むらさきキャベツ液の色の変化」	
3年 とうま かずは	「にごった水をきれいにできるか？」	
3年 いは まこ	「クワガタ・カブトムシ取り」	
4年 宮城 俊希	「虹のひみつをさがろう」	
4年 大城 豊次郎	「暑い夏の温度を調べよう」	
5年 米須 乙華	「水はつかめるか？」	
5年 加藤稜雪・謝花 朝春	3年 じゃはな はんな 「ミクロの世界」	
5年 山内 月	3年 山内 錬樹 「まつぼっくりの観察」	
5年 當眞 新菜・徳元 紀和・加藤 稜雪・安慶名 慧	「『ウズラ』の卵 ふ卵器と自作ふ卵器での孵化」	



写真1 賞状授与の様子



### 校長室からちょっといい話

- 「おはようジョギング」で、「校長先生、おはようございます。」と声をかけて、朝のあいさつを返してくれる子ども達が少しずつ増えてきています。声をかけられて、顔を見て、あいさつしてくれる子ども達に、1日のスタートの元気をいっぱいもらっています。ありがとうございます。
- 10月9日(月)、「おはようジョギング」を終えた4年生の男の子が、「校長先生、これ」と手のひらを広げて、私の方に差し出しました。その手にあったのは、1円玉が2個。「拾ったんだよ。朝からラッキーだよ、校長先生。」と言って、私に渡してくれました。その笑顔がとても素敵でした。この2円は、その子に職員室にある「赤い羽根募金」の貯金箱に入れてもらいました。
- 朝の読み聞かせを終えてボランティアの方が、「今日は、本を読み終わると、子ども達が拍手をしてくれたんです。こんな拍手、初めてでびっくりして、とても嬉しくなりました。」と、お話ししていました。「スーホの白い馬」という本を読んだ後のことだそうです。6年生の子ども達の素敵な感性に響いたのかもしれない。素直な拍手をありがとうございます。拍手で人を笑顔にできるって、本当に素敵ですね。